

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
2024 年度 実行計画(案)

基本方針	
みらい創造委員会 委員長 大島 俊太郎	
委員会の目指す未来	希望溢れる明るい社会を目指し、人の夢も自分毎に捉え、周りを積極的に応援できる人財になる未来。
委員会設置背景	夢や希望を持つ青少年が育成される社会を作り上げることが、今後より良い未来へつながることから、夢と希望を創出する機会の提供と現状の社会の課題と対策に目を向け、周囲に伝播していく必要があります。
委員会設置目的	一人ひとりが自身の将来に目を向け、挑戦する大切さや地域の課題に真摯に取り組む場を創出することで、他者を思いやり笑顔溢れる茨城のみらいを創造します。

① JC カップ U-11 少年少女サッカー予選本大会の実施

JC カップ U-11 少年少女サッカーエリア予選の実施

背景	2023 年度に初のエリア別予選会を行ったことで過去最多である 53 チームの参加があり、本大会の需要が高まっている。自分の将来に夢を見る子供が多くなることで、明るい豊かな社会の実現につながることから、JC カップを通してよりグッドルーザーの精神を育む機会を提供していく必要があります。
目的	地域社会の次代を担う少年少女達が、大会を通してグッドルーザーの精神を育むとともに自分の夢を真剣に考える環境の創出を目的とします。
推進体制	連携パートナー：公益社団法人茨城県サッカー協会 一般社団法人 JA 茨城協働学習サービス 参加対象者：県内のサッカーチームに所属する 11 歳以下(小学 5 年生)の児童と保護者及び引率者
実施日	2024 年 04 月～06 月
施策の詳細	委員会が主体となって各エリア LOM への協力要請を行い、エリア予選大会を 4 月～5 月に実施を行います。またエリア予選で勝ち抜いた上位 4 チーム計 16 チームが予選本大会に出場し、6 月に実施します。エリア予選ではアフターマッチミーティングを行い、グッドルーザーの精神を醸成し、目標に向かって努力する意欲を培い、仲間意識や責任感といったものを育みます。また勝利チームからもアフターマッチミーティングで対戦相手から学んだ事を発表頂き、今後の自分の人生の糧として頂きます。予選本大会ではサッカーの試合以外に家族で参加できる設えをします。家族との絆が深まることでグッドルーザーの精神向上に

	つながり、子供は積極的に夢を追い、家族は暖かく子供を見守る環境を創出することができます。主催者益として主管 LOM のブランディングの向上及び茨城ブロック規模の事業開催ができることを伝え、積極的に立候補頂けるよう働きかけます。
--	---

② ハイスクール議会の実施

背景	現在、少子化により若年者の人口が減少しています。しかし、未来を創るには若い世代の協力が必要不可欠であることから、現在そして未来の日本のあり方を決める政治に積極的に関与してもらう必要があります。
目的	高校生が政治への理解を深め、地域の課題に興味をもち、主権者意識を醸成することを目的とします。
推進体制	連携パートナー：茨城県、茨城県教育委員会、茨城県議会 参加対象者：県内各地の高校生
実施日	2024 年 07 月
施策の詳細	県議会議員の先生方に高校生達のグループワークによるディスカッションのファシリテーターとして参加をお願いします。先生方には高校生達の意見を尊重していただくと共に彼らの自由な発想を温かく見守っていただきます。先生方のリアルな仕事を伺いつつ、高校生達が作成する提言書への助言を頂きます。また実際に県へ提出した議題の行方を参加頂いた学生に報告致します。

③ 防災・減災を考える事業の実施

災害時の支援活動の実施及び取りまとめ、行政との連携

背景	災害による被害が増加傾向にある昨今、有事の際の行動が分からず、二次、三次被害にあい人命が失われる場合があります。防災減災の知識を身に着け、人命が奪われない社会を目指す必要があります。
目的	現実に災害が発生したときに、迅速かつ適切に行動できるよう誰もが防災の意識をもち、各地域で的確な情報の共有ができること目的とします。
推進体制	連携パートナー：社会福祉協議会 ：公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 参加対象者：茨城県内の子供たち
実施日	2024 年 09 月
施策の詳細	災害時における地域の実情に即したレジリエンスを向上するために、まずは各 LOM が社会福祉協議会と協定を結んでいるかヒアリングをします。連携がまだ出来ていない LOM には協定を結んだ時のメリットを伝えさせて頂き、積極的に連携が図れるよう働きかけます。また防災グッズを使用したキャンプ体験をして頂きます。実際の災害に対してどの家にもあるようなものから、手軽に手に入る

	防災グッズの紹介等をさせて頂き、使い方など体験することで一人ひとりの防災に対する意識の向上につながり、大切な人たちを守ることができるのだと自覚して頂きます。
--	--

④ 公開討論会の支援の実施

背景	国政選挙を含め、年々投票率の低下が危惧されている現在、立候補者同士の意見のぶつかり合える場を設けることで、有権者が政治的関心や未来への関心を持つ機会を提供することが必要です。
目的	討論会を開催する会員会議所が、有権者の政治への関心を高め、選挙の投票率を向上させることを目的とします。
推進体制	連携パートナー：一般社団法人公開討論会支援リンカーン・フォーラム ローカル・マニフェスト推進ネットワーク茨城 NPO 法人ドットジェイピー茨城支部 参加対象者：茨城県民
実施日	2024 年 01 月～12 月
施策の詳細	各選挙区の実行委員会の立ち上げ準備や、茨城ブロック協議会と各 LOM との連携を図り、統括 LOM を事前に決定する等十分な準備を行います。また、衆議院解散後は、各選挙区にて公開討論会・合同演説会等を行い、市民へ各候補者の政策を知る機会と政治への関心を高める契機を提供します。急な衆議院解散に伴う選挙に備え、メンバー全員が公開討論会・合同演説会等について学び、しっかりとした支援体制を構築します。ネット式の公開討論会及び現地開催どちらかを公開討論会担当 LOM が選択可能とします。開催方式は事前にヒアリングを行い、形式に合わせた資料を提供します。